

資料② トイレットペーパーパニック

1973年10月31日、大阪千里ニュータウンの、大丸“ピーコック”で午前10時開店を前に主婦ら200人以上がナガーイ行列。トイレットペーパーを手に入れるため、折込み広告では“1個(4ロール)138円”となっていたのに、品切れを理由に実際の値段は“1個200円”、それでも30分で売り切れてしまった。

大丸ピーコック紙製品コーナーの主任は“その日”を次のように語っている。「30日に売り出しのチラシをまきました。品物は70か80品目ありましたか…。31日の開店前に200人ぐらい並んでいるのですよ。いつもチラシをまいても50人ぐらいだから“今日をよく効いたなあ、何が売れるんだろう”なんて話してたんです」——トビラが開くと、エスカレーター、階段を伝って客は3階の催しもの会場へ押しよせた。売り出し700パック、2階にある通常の品700パック、計1,400パックが1時間で消えた。平常の4倍近い売れ方である。「それからはもう、毎日えらい騒ぎで……」

2日午前9時50分ごろ、灘神戸生協園田店で、トイレットペーパーを買うために並んでいたTさん(85歳)が、後に並んでいた人がきに押し倒され、左足を折って2カ月のけがをした。尼崎北署の調べによると、同店は平常10時に開店するが、この日はトイレットペーパーを買い求めようとした近所的主婦ら約200人が押しかけたため予定を10分早め、9時50分に開店したところ、お客が一度に入ろうとしたため前の方にいたTさんは押し倒されたい。

(宮崎義一著『新しい価格革命』)

資料③ 物価、賃金

[1970 = 100]

年次	消費者物価指数(全品目)							
	日本	アメリカ合衆国	イギリス	フランス	ドイツ連邦	イタリア	ソ連	
1965	77	81	80	81	89	86	100	
68	88	90	89	89	95	93	100	
69	93	94	94	95	97	95	100	
71	106	104	109	106	105	105	100	
72	111	108	117	112	111	111	100	
73	124	114	128	120	119	123	100	
74	154	127	148	137	127	146	100	
75	172	139	184	153	135	171	100	
76	188	147	215	168	141	200	100	

資料 国連統計年報(1977)による。

(注) 1. 消費者物価指数の日本は1975年まで沖縄を除く。ソ連は国定小売価格指数である。

[1970 = 100]

年次	賃金指数(製造業)							
	日本	アメリカ合衆国	イギリス	フランス	ドイツ連邦	イタリア	ソ連	
	(1月)	(1時間)	(1時間)	(1時間)	(1時間)	(1時間)	(1月)	
1965	51	78	68	64	70	64	77	
68	74	90	80	81	80	73	91	
69	86	95	87	90	89	81	96	
71	113	106	112	111	112	116	103	
72	131	113	127	125	121	130	107	
73	163	121	144	151	135	159	111	
74	205	131	173	180	149	200	117	
75	229	143	217	211	161	286	122	
76	257	154	242	238	172	...	...	

資料 国連統計年報(1977)による。

(注) 1. 日本は家族手当・給料雇用者・ボーナスを含む。 2. イギリスは成人男子。

3. フランスは成人。 4. ドイツ連邦は男子で家族手当を含む。

5. イタリアは現物支給を含む。ソ連は給料雇用者を含む。

(経済企画庁調査局編『経済要覧』1979年 P 359)